# 令和７年度第１回福岡県ブルーカーボン推進協議会が開催されました

産官学の幅広い方面の方に参加していただき協働していくことでブルーカーボンの創出を推進する令和７年度第１回福岡県ブルーカーボン推進協議会が令和７年 10 月 16 日（金）に開催されました。

協議会では漁業者や地元企業など約 130 名が参加し、以下の事例紹介が行われました。

このうち水産海洋技術センターの「投石の再配置による藻場再生の取組」は全国初の取り組みであり、今年度から開始された、「みらうみプロジェクト」では、水産高校生が、県や漁協、企業の協力を得て、ウニ除去や海洋土木の実習など藻場回復に役立つ活動を行った発表を行い、参加者の注目を集めていました。

（事例紹介）

①投石の再配置による藻場再生の取組　（福岡県水産海洋技術センター）

②海の森がつなぐ地域のサステナビリティ　（一般社団法人ふくおかＦＵＮ）

③大島におけるウニ養殖と試験販売　（宗像漁業協同組合大島支所）

④みらうみプロジェクトにおける海洋人材の育成とブルーカーボン創出への取組　（福岡県立水産高等学校）




事例紹介の様子